

令和5年度
多様な主体によるスタートアップ支援展開事業

理系学生向け
社会課題解決インキュベーションプログラム

『TOKYO MOONSHOT』
参加学生募集要項

TOKYO MOONSHOT運営事務局

1. 趣旨

本プログラムは、東京都が行う「多様な主体によるスタートアップ支援展開事業」にて採択された協定事業です。スタートアップ・エコシステムの強化、拡大・成長の促進を目指し、技術や専門分野の知見を有する理系学生が、社会課題という領域にてその活用どころを新たに発見し、社会起業家を目指すことを支援することを目的としています。

「自身の研究や専門性を用いて社会課題解決および社会変革に貢献していきたい」。そのような想いを抱える東京都内在学中の理系学生を対象に、実際の社会課題の現場や解決に取り組むトップランナーと出会う機会を創出し、グローバルイシューを現場起点からビジネスによる解決を生み出す社会課題解決インキュベーションプログラムを実施します。

2. プログラムについて

(1) プログラム概要

自身の研究や専門性を用いて社会課題解決および社会変革を志す理系大学生・大学院生に対し、大手企業に向けた社会課題領域での新規事業創出支援をしてきた本プログラム運営メンバーが、約14カ月間にわたるメンタリングや事業の仮説検証サポートを実施し、参加学生による社会課題解決に向けたサービスやプロダクトの事業創出・資金調達にむけて伴走支援を行います。また、プログラム全体を通じて、社会起業家としてのマインドセット・スキルセットの体得もサポートしていきます。

本プログラムにて取り扱うテーマ

- ① 少子高齢化
- ② 社会インフラ保守
- ③ 物流DX
- ④ サーキュラーエコノミー
- ⑤ 気候変動
- ⑥ フェムテック

(2) 支援内容

本プログラムにおいては、以下の支援を行います。

○ソーシャルビジネスのプロが事業検討を伴走

本プログラムの運営を行っている株式会社Ridilover（以下、リディラバ）のなかで大手企業との社会課題領域での新規事業創出を伴走しているメンバーがメンターとなり、事業の開発・成長を徹底的にサポートします。社会的なインパクトと事業の成

長の両方にコミットし、社会課題解決と向き合いながらもどのように創業、事業運営をしていくのかという問いに、約14カ月のプログラム期間中、伴走支援します。

○世界共通の社会課題を現場起点で理解し、議論できる場を提供

少子高齢化や気候変動など、世界的な課題について、「誰が何に困っているのか」という課題の現場を踏まえ、事業検討をするプログラム設計となっています。社会課題フィールドツアーにて、課題の現場と解決に向けた取り組みの最前線を知ること、何に取り組むことが実行性の高いアクションなのかなど迷子に陥りやすい点の解消をサポートします。

○複数分野の専門家による審査とフィードバック機会

「技術性・専門性」、「事業性」、「社会性」といったそれぞれの分野での専門家による審査会を計2回実施。上記3つの各側面から事業に対するフィードバックを行い、社会変革を起こしうる事業づくりのサポートを行います。

○事業検証を全面サポート

プログラム期間中（※事業アイデア創出後）、審査会を経て選出された5チームには、事業創出に向けて必要となる事業開発費を一部サポート（最大100万円(税別) / 1チーム）します（※）。事業検討費用をサポートすることで参加者にはアイデアを形にすることに集中できる環境をつくります。

※参加者の自己負担になる項目は下記のとおりです。

- プログラムに必要な通信機器の調達に係る費用及び通信料等
- プログラム期間中の食費やその他生活に必要な経費
- 社会課題フィールドツアーおよび審査会に係る交通費
（原則としてご自宅から目的地までとなります）

※事業開発費は、事務局により事業活動に必要と認められた経費のみが対象となります。

○ソーシャルビジネスコミュニティとの接続を支援

リディラバが持つソーシャルビジネスコミュニティと連携し、第一線で活躍する社会起業家や資金面での支え手となるベンチャーキャピタルなどと出会う機会を創出。事業をつくり育てていく上での仲間づくりを支援します。

(3) 実施スケジュール・開催場所

本プログラムは、以下のスケジュールでの進行を予定しています。

2023年11月1日～12月中・下旬	募集・選考
2024年1月10日	キックオフオリエンテーション

2024年1月13日、14日、20日、21日	社会課題フィールドツアー（うち1日）
2024年1月27日or28日	オンラインワークショップ
2024年2月12日～16日	審査①
2024年2月26日	審査② 兼 交流会（オフライン）
2024年3月1日～2025年2月下旬	オンラインメンタリング+検証サポート
2024年5月下旬（予定）	中間発表会① 兼 交流会（オフライン）
2024年11月上旬（予定）	中間発表会② 兼 交流会（オフライン）
2025年2月上旬（予定）	最終報告会 兼 交流会（オフライン）

1 社会課題フィールドツアー（2024年1月13日（土）、14日（日）、20日（土）、21日（日）

東京都近郊にて、各テーマの課題解決に取り組んでいる実践者や現場へのフィールドツアーを実施します。実践者の取り組みを知り、課題に対する理解を深めることで、取り組むべき課題を探索・特定していきます。

※テーマによりフィールドツアー実施日は異なります。

2 オンラインワークショップ（2024年1月27日（土）or 28日（日）

社会課題フィールドツアーや東京都職員へのヒアリング、チームでのリサーチを元に、取り組むテーマにおけるビジネスのコンセプト案を作成します。チーム内だけでなく、リディラバメンバーとのディスカッションを基に、事業として取り組む方向性を絞り込んでいきます。ここで作成したコンセプトを元に、その後の事業検証に取り組んでいきます。

3 審査①（2024年2月12日（月・祝）～16日（金）

リディラバの中で大手企業との社会課題領域での新規事業創出を伴走しているメンバーにて、これまでの事業検討や各チームの活動状況等を鑑みて、15チームから10チームへの審査を実施します。

4 審査② 兼 交流会（2024年2月26日（月）

審査①を通過した10チームによる事業コンセプトに関するプレゼンを、東京都内の会場にて実施します。リディラバ代表の安部+大手企業との社会課題領域での新規事

業創出を伴走しているメンバーによる追加の審査を行い、3月以降の事業検討に進む5チームを選出します。

5 オンラインメンタリング+検証サポート（2024年3月1日（金）～2025年2月下旬）

リディラバの担当メンターによる伴走のもと、顧客課題と提供価値の特定、ペーパープロトや人力でのソリューション検証などを実施します。また、ソリューション検証後は、検討すべき資金調達種類のリサーチを行い、実際に資金調達に向けたアクションを実施します。

6 中間報告会① 兼 交流会（2024年5月下旬予定）

東京都内の会場にて、各チームによる顧客課題の特定とソリューションの方向性について検討状況の発表を行います。実業家や専門家等からフィードバックを行い、社会課題解決のインパクトとグローバル展開も見据えたビジネスとしての実現性について解像度を深め、その後の事業検討に向けてブラッシュアップしていきます。

7 中間報告会② 兼 交流会（2024年11月上旬予定）

東京都内の会場にて、各チームによるソリューションの検証結果について、検討状況の発表を行います。社会課題解決事業における資金提供について、本プログラムの審査員とは別に、関心や親和性の高い関係者を招き講評をもらい、ビジネスとしてブラッシュアップしていくためにどのような検証を行っていけばいいのかといった議論を行います。

8 最終報告会（2025年2月上旬予定）

東京都内の会場にて、14ヶ月間の集大成としてビジネスプランに関する最終発表会を開催します。中間報告会の外部講評者や東京都職員などを招き、事業の成果を発表します。

(4) 募集予定人数

15チーム

※採択人数は変動する場合があります。

(5) 求める人材像

本プログラムでは、次のような人材を求めています。

- ・自身の研究や専門性を用いて社会課題解決および社会変革のために事業創出を志す者
- ・ともに参加する仲間と切磋琢磨しながら、積極的に学び、成長する意思を持っている者

(6) 応募要件

次の①～③に掲げる要件を、2024年1月1日～2025年3月31日時点ですべて満たす者を対象とします。

- ①特段の事情のある場合を除き全てのプログラムに参加できる者(※1)
- ②東京都内の大学および大学院に所属する理系学生(※2)
- ③(チームで応募する場合は)人数が3名以下であること(※3)

※1：オンラインで実施するプログラム以外は、現地(東京都内および近郊での実施を予定)での参加を必須とします。

※2：想定している学部もしくは研究科は以下のとおりです。

自然科学系統に属する理学部系、工学部系、農学部系、薬学部系、歯学部系、医学部系

- 自身が所属する学部もしくは研究科があてはまるか不明な場合は事務局にお問い合わせください。
- 大学院に関し、対象は修士課程および博士課程に在籍している学生となり、研究員(博士研究員)は対象外となります。
- 上記の条件に当てはまる通信制大学所属学生も対象となります。

※3：チームの人数が3名以上であっても応募を強く希望する場合は、問い合わせフォームより個別に相談してください。

(7) 応募受付期間・応募方法

応募の詳細については以下をご確認ください。

1 応募受付期間

2023年11月1日(水)から2023年12月17日(日)23時59分まで

2 応募方法

以下について、応募受付期間にて実施します。

1. 下記のエントリーフォームに必要事項を記入いただき、プレエントリー登録を行ってください。
(プレエントリーフォーム) <https://forms.gle/wjg99s4uz8YXM3mw9>
2. 事務局からのメールに送付された応募書類および本エントリーの応募フォームを記入・提出し、本エントリー登録となります。

(8) 選考方法・審査の観点

1 選考方法

以下の2段階の選考を行います。なお選考結果については、12月下旬に事務局より個別に通知を行う予定です。

1. エントリー書類に基づく選考（2023年12月11日からの予定）
2. 事務局との面接（※）による選考（2023年12月中・下旬の予定）

※チーム応募の場合の面接は、原則チーム全員でご参加いただきますが、日程調整が難しい場合等にはこの限りではありません。事務局より個別にご案内させていただきます。

2 審査の観点

自らの関心分野である研究や技術を用い、社会課題解決に向けた事業創出を模索しており、その活動について説得性のあるビジョン・計画を有しているという観点を基本方針とします。なお、審査は「人物」「行動」「計画」の3つの観点から行います。

人物：本要項「（5）求める人材像」で示したような人材であること。

行動：社会課題解決のために何らか具体的な行動を起こしていること。

計画：自身が有する技術や専門性を用い、解決策を示すことができること。

3. 応募上の配慮事項について

(1) 対面参加に伴い必要とされる配慮について

身体等に障害があり、プログラムへの参加に当たり配慮が必要となる場合は、その種類・程度に応じた配慮を行いますので、事前に事務局宛てにご相談ください。

(2) 外国籍の方の応募について

外国籍の方が応募する場合は、事業期間を通して在留資格を証明するものとして、「在留カード」または「特別永住者証明書」の原本あるいは写し（表面および裏面）を合格された場合には提出してもらいます。なお、本事業は日本語のみの対応となるため、日本語に精通している方が対象となります。

4. 参加規約

[参加規約のダウンロードはこちらから](#)

5. お問い合わせ先

TOKYO MOONSHOT運営事務局

(株式会社Ridilover) tokyo-moonshot@ridilover.jp